

所属	看護医療学部 臨床検査学科	職位	教授	氏名(学位)	森 啓 至 (博士(医学))	
所属学会	日本生理学会、日本神経科学会、日本医学教育学会、生物資料分析学会、日本臨床検査教育協議会 日本臨床検査技師会					
専門領域	基礎生理学、神経科学、微生物検査学					
研究テーマ	アルツハイマー型認知症と嗅覚異常の関連について (動物実験を中心に) マウス膝関節軟骨変性の機序解明と進行予防について					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の工夫 (授業評価等を含む)						
2 作成した教科書、教材、参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法から診る廃用症候群 ・実学としての理学療法外観 ・医学領域における臨床検査学入門 改訂版第2版 ・医学領域における臨床検査学入門 追補(13,16,17,) 					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育上特記すべき事項	日本生理学会 生理学エデュケーター認定(2021年1月~2026年12月) 金城大学医療健康学部での講義・実習が優秀であると評価され「2013年度金城大学優秀教員表彰」受賞					
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌 (および巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	頁数
著書	理学療法から診る廃用症候群	共著	2014年5月	文光堂	編集: 奈良勲、神戸晃男、山崎俊明、木林勉、著者: <u>森啓至</u> 、他	12-23頁
著書	実学としての理学療法外観	共著	2015年11月	文光堂	編集主幹: 奈良勲 著者: 奈良勲、木林勉、森山英樹、 <u>森 啓至</u> 他	45-58頁
学術論文 (総説)	Effect of peripherally administered lipopolysaccharide (LPS) on GTP cyclohydrolase I, tetrahydrobiopterin and norepinephrine in the locus coeruleus in mice.	共著	2007年6月	Stress 10巻2号	Akira Ota, Yoko S Kaneko, <u>Keiji Mori</u> , Akira Nakashima, kuko Nagatsu, Toshiharu Nagatsu	131-136頁
学術論文 (総説)	Peripheral lipopolysaccharide administration affects the olfactory dopamine system in mice.	共著	2008年12月	Annals of the New York Academy of Sciences 1148巻	Akira Ota, <u>Keiji Mori</u> , Yoko S Kaneko Toshiharu Nagatsu 他	127-135頁
学術論文 (総説)	Subventricular Zone under the Neuroinflammatory Stress and Parkinson's Disease	共著	2012年4月	Cell. Mol. Neurobiol.32巻5号	<u>Keiji Mori</u> , Yoko S Kaneko, Akira Nakashima, Toshiharu Nagatsu 他	777-785頁

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
学術論文 (原著)	Peripherally injected lipopolysaccharide induces apoptosis in the subventricular zone of young adult mice.	共著	2010年9月	Neurosci. Lett. 481巻2号	<u>Keiji Mori</u> , Yoko S Kaneko, Akira Nakashima, Toshiharu Nagatsu 他	126-130頁
学術論文 (原著)	Regulation of oxidative stress in long-lived lipopolysaccharide-activated microglia.	共著	2012年7月	Clin Exp Pharmacol Physiol. 39巻7号	Yoko S Kaneko, Akira Ota, Akira Nakashima, <u>Keiji Mori</u> , Ikuko Nagatsu, Toshiharu Nagatsu	599-607頁
学術論文 (原著)	Effects of aripiprazole and clozapine on the treatment of glycolytic carbon in PC12 cells.	共著	2012年11月	J. Neural. Transm. 119巻11号	Akira Ota, Akira Nakashima, Yoko S Kaneko, <u>Keiji Mori</u> 他	1139-1153頁
学術論文 (原著)	Intracellular stability of tyrosine hydroxylase: phosphorylation and proteasomal digestion of the enzyme.	共著	2013年1月	Adv Pharmacol. 68巻	Akira Nakashima, Yoko S Kaneko, Yu Kodani, <u>Keiji Mori</u> 他	3-11頁
学術論文 (原著)	Lipopolysaccharide treatment arrests the cell cycle of BV-2 microglial cells in G1 phase and protects them from UV light-induced apoptosis.	共著	2014年2月	J Neural Transm. 122巻2号	Kaneko YS, Ota A, Nakashima A, Nagasaki H, Kodani Y, <u>Mori K</u> , Nagatsu T.	187-199頁
学術論文 (原著)	Aripiprazole increases NAD(P)H-quinone oxidoreductase-1 and heme oxygenase-1 in PC12 cells	共著	2014年6月	J Neural Transm. 122巻6号	Yoko S Kaneko, Takeshi Takayanagi, Hiroshi Nagasaki, Akira Nakashima, <u>Keiji Mori</u> 他	757-772頁
紀要	学生の OSCE に対する意識と臨床実習成績の関係	共著	2017年3月	金城大学紀要 第17号	河野光伸、吉武将司、森 啓至 他	185-192頁
紀要	膝関節拘縮モデルに対する寒冷刺激効果の基礎的検討	共著	2020年3月	金城大学紀要 第20号 (研究ノート)	森 啓至、中川拓也、小島 聖	139-143頁

III 主な学会活動

発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
PC12 細胞内 Nrf2 活性に対するアリピプラゾールの作用	共同	2015年9月	第45回日本神経精神薬理学会
関節拘縮後の関節軟骨に対する寒冷浴の効果	共同	2018年12月	第6回日本運動器理学療法学会学術大会
DMM と ACLT の複合によるマウス変形性膝 関節モデルの作成	共同	2018年12月	第6回日本運動器理学療法学会学術大会
大腿神経損傷が変形性膝関節症モデルの軟骨変性に及ぼす影響	共同	2019年11月	第24回日本基礎理学療法学会学術大会

IV 社会における主な活動

活動期間	活動内容等
2012年4月～2020年3月	藤田医科大学医学部客員教授
2020年4月～現在に至る	藤田医科大学医学部客員教員
2022年4月～現在に至る	愛知学泉短期大学食物栄養学科非常勤講師